

令和7年度 入学式 理事長挨拶

初めに、ご多用に拘わらずご臨席を賜りましたご来賓の皆様にご挨拶を申し上げます。また、保護者の皆様には壇上からではございますが、心からのお祝いを申し上げます。入学式に際しまして学園を代表し一言ご挨拶を述べたいと存じます。

改めまして、本日入学をなさいました大学院並びに学部の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。本年は学部創立から60年の節目の年に当たり、学部に入學しました皆さんは記念すべき年の入学者であります。そして、数多くある大学の中で本学への入学を決められたこと、心から歓迎いたします。これまでは大学が入学者を選抜しておりましたが、今や皆さんが大学を選ぶ時代になりました。特に近年は男女共学を志向する傾向にあり、女子大への入学者は減少しております。その意味でも本日ここに皆さんをお迎えすることが出来たことを大変喜ばしく思います。

さて、入学に際しまして本学園を少しご紹介したいと思います。本学園は大学・大学院をはじめ2つの高校、2つの幼稚園と附属の保育園を擁する学校法人二階堂学園であります。本学園は1922年に二階堂トクヨ先生により創立された二階堂体操塾に始まり、2022年には100周年を迎えました。創立者二階堂トクヨ先生は大正元年にイギリスの郊外ダートフォートにあるオスターバーク・フィジカル・トレーニング・カレッジに2年間留学をし、そこで学んだ体育・スポーツ・ダンスを通し、体育指導者の養成に取り組み、全人教育を教育理念として優秀な女性体育教師を輩出することを目的としてきました。また、英国で培われた国際的視野のもと、女性を心身ともに健全で独立した人格を持った人間として、養成することも考えておりました。最近ジェンダー問題が話題になっておりますが、この時代に既に女性を一人の人格者として考えていた訳ですから、大変進歩的だったと言えます。

本学園は、人の教育は幼児期が重要と考え早くから幼児教育に取り組み、大学教育まで進めてきました。これまで卒業生の多くは幼稚園教諭をはじめ、保健体育教諭として活躍してきました。一方で教師のみならず、中にはオリンピック選手として活躍した方も多くおられます。中でも大学の前身である二階堂体操塾の3期生の人見絹枝女史は、1928年アムステルダム・オリンピックの

800メートルの銀メダルに輝き、日本人初の女性メダリストになりました。人見絹枝女史は日本のスポーツ界の歴史的人物として評価されています。新入生の皆さんは是非記憶しておきましょう。若い世代のオリンピックでは、女子サッカーのワールドカップの優勝とロンドンオリンピックの銀メダルに輝いた岩清水梓選手がおります。本学は教員のみならず、スポーツ界にも優秀な卒業生を沢山送り出してきました。本年は日本でデフリンピックが開催されますが、卒業生の岡田海緒さんがこのデフリンピックの広報としてマスコミに多く取り上げられていることを大変嬉しく思っております。彼女は大学時代に陸上競技部に所属してこの分野で活躍し、当時から国際競技会で活躍してきました。現在も継続して取り組んでおります。本学の卒業生には選手としてあるいは指導者として国際舞台で活躍してきた方が沢山おります。皆さんの授業を担当しておられる方の中にもオリンピックはおります。学生生活を通して是非、先生方の貴重な経験を拝聴することをお勧めいたします。

学園は100周年事業の一環として、この体育館の横に百周年記念館を建設いたしました。この施設はこれまでになかった柔剣道場をはじめ、授業以外に仲間同士の交流が出来る学生コモンズ等多様な施設が整っております。どうか大いに活用して頂き充実した学生生活を送ってください。また、大学・大学院に入学したからには好奇心と向上心を持ち、多くの教授陣と積極的に交流し、その先生の潜在的知識を貪欲に吸収し、後悔のない学生生活を送って欲しいと思います。私は学生時代に、研究室以外の多くの先生方との交流によって自分が成長でき、今日の自分があると思っております。幸いにも本学は、深代学長をはじめ諸先生方はそれぞれの分野で名を成している方ばかりです。皆さんも専門的知識を積み重ねつつ視野を広げ、人間力を高めていくことを希望いたします。

保護者の皆様におかれましては、本学の教育方針にご賛同いただきご協力頂きますようお願い申し上げます。

令和7年4月3日

学校法人二階堂学園

理事長 石崎 朔子